

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212V205	地域看護システム論 (Community Health Nursing Practice IV)	専門教育科目 地域看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	2	後	月・4	箕河原靖子・後藤 奈穂・金崎理子 内線:5092 E-mail : sugahara-seiko@oita-u. ac. jp

【授業の概要・到達目標】

社会や組織のシステムの中で機能する看護について、他職種との共通・相違や、諸制度との関連を考えながら、集団・組織への支援活動の展開過程と、様々な実践の場での活動の実際を学ぶ。また、地区活動と保健事業をになう地域看護活動展開方法に必要な援助技術と施策化に必要な基本的な考え方を学ぶ。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 社会や組織のシステムの中で機能する看護について説明する	○						
2. 地域看護活動展開方法に必要な援助技術と施策化に必要な考え方を説明する	○						
3. 集団・組織の特性に応じた看護活動展開方法の実際を説明する	○						
4. 地区・事業所・学校等を単位とした看護活動を健康管理体系、関係法規とあわせて説明する	○						

【授業の内容】

1	地域看護システム論とは・行政に所属して行う看護の実際
2～3	学校看護活動の実際
4～5	産業看護活動の実際
6	介護分野における保健師の活動
7	福祉分野・民間における保健師の活動
8	活動場所の特性に応じた地域看護活動の振り返り (集団・組織の理解、関連法規・制度、健康課題の特徴)

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	授業終了時のカード記入	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を使って事前に各自が学習内容の概要を確認し疑問点を整理しておき、疑問を出し合い討議する。 動画や事例を用い、イメージを拡げる。
B：意見の表現・交換	○	グループ検討	
C：応用志向	○	グループ間討議・発表	
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書等を用い次回の学習内容について予習し、概要と疑問点を予習シートに整理し講義に臨む (8h)
事後学修	配布資料・教科書を用い授業で学習した内容を復習する (8h)

【教科書】 宮崎美砂子他編：最新公衆衛生看護学 第3版 総論 2023年版. 日本看護協会出版会, 2023

宮崎美砂子他編：最新公衆衛生看護学 第3版 各論1 2024年版. 日本看護協会出版会, 2024

宮崎美砂子他編：最新公衆衛生看護学 第3版 各論2 2024年版. 日本看護協会出版会, 2024

厚生労働統計協会, 国民衛生の動向, 2022/2023

厚生労働統計協会, 国民の福祉と介護の動向, 2023/2024

【参考書】 その他講義中提示する

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
予習シート、授業参加状況	20%	○	○	○	○
期末試験	80%	○	○	○	○

【注意事項】

非常勤講師の都合により授業内容2～8は順序変更の可能性がある

【備考】

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	保健師（都道府県保健所・市町村病院）	
実務経験をいかした教育内容	地域看護活動の展開方法とシステムとの関係を実務経験を交えて理解しやすく講義する。	